

◎夏休み中に行われた主な行事・取組を掲載します。(夏休み校長日記)

●7月21日(水) 夏休みが始まりました。

さあ、いよいよ40日間の夏休みが始まりました！

学校では、夏休みを待って、さまざまな工事・点検作業が開始されました。こどもたちの安全、騒音・ゴミ等の影響を考慮し、各業者の方にご無理をお願いして、毎年夏休みの時期に集中して行っていただいております。また職員は、公募等の整理、校内清掃の他に、外部研修に参加しております。さらに、臨海学舎(5年生)の下見に、担当教員たちで出かけました。

●7月22日(木)～25日(日) パンジーと共存します。

4月に植えたパンジーの花。1学期の終業式まではもたないだろうという、おおかたの予想を裏切り、夏休みに入って、花数こそ減ってきたもののしっかりと花を咲かせています。他の植物も含め、毎朝、日の出前に水をやりに来ています。「2学期の始業式でも咲いているパンジー」これが、この夏の目標です。応援よろしくお願いします。

●7月26日(月) 粗大ごみを搬出しました。

午前中に、大型ごみ(廃棄物)も含め、粗大ごみを搬出しました。前日までに、学校全体にかかわるもの、各自の机やロッカー等にあるものを整理し、粗大ごみ、紙ごみ(シュレッダーが必要なもの、必要ないもの)に分別しておいたので、スムーズに搬出できました。また、この日から、市の夏季教職員研修(課題別)も本格的にスタートしました。本校は、すべての研修に、複数の教職員が参加し、学校に持ち帰って、全教職員で内容を共有します。

●7月27日(火) 修学旅行下見に行ってきました。

修学旅行(6年生)の下見に、担当教員たちが早朝に出発。今年度より宿泊ホテルを変更しましたが、そのホテルがすごくいい(きれい、大きい、広い・・・)とのこと。きっとこどもたちも喜んでくれるでしょうといくことでした。今から楽しみです。

●7月28日(水) うれしい便りが届きました。

本校児童より、喜志小学校のみなさん にあてた暑中見舞いが届きました。担任の先生等、個人あての手紙ももちろん届いていますが、職員すべてにあてた便りは、みんなでうれしく読ませてもらっています。

●7月29日(木) プール掃除をしました。

今年度の水泳(プール)指導は、コロナウイルス感染症予防のため、市立全小学校で中止となりました。プール掃除も例年であれば、6年生児童と教職員でおこなうのですが、このような状況の中ですので、教職員のみで行いました。水抜きは、昨日に済ませていたので、今日は、底にたまった藻を取り上げることから始めました。モップ等で藻を集め、バケツに入れてプールサイドに引き上げるのに約1時間、デッキブラシ等でプール内をこすって汚れをとるのに約1時間、併せて約2時間の作業でした。1日がかりの作業を予想していましたが、さすがは“チーム喜志小”動きが速い！！

来週に、プール底部吸い込み防止金具点検を業者の方にして頂き、8月中旬には、プールに再び水をはります。これは、本校プールが、地域の防火用水貯留(池)を兼ねているためです。

本校創立150周年である来年度こそは、楽しく安全なプールを再開したいものです。

●7月30日(金) アマガエルの楽園が誕生しました。

プール下花壇に、アマガエルが4匹もいました。なぜ、水辺もないところにこんなにいるのだろうか、しばし考え、わかりました。どうやらプールのシャワーの足元の排水溝が、落ち葉でつまって水たまりになっており、昨年度、そこでアマガエルの親?が産卵、オタマジャクシが生まれ、子どもになり、水たまりを出て、プール下へ・・・というストーリーではないかと。実際、先の水たまりを覗

いてみると、いました！ オタマジャクシ。 『自然がいっぱい 喜志小学校』

●7月31日（土） 今日も来ました、行（生）きました。

今日も、朝から水やりに来ました。暑さとの戦い？ でも、植物はもっと暑さと戦っているわけで・・・
いろいろな想いをめぐらしながら、花と話をしながら・・・。人と自然との共存を楽しみながら・・・。